

政治学科 / Department of Political Science

誰もが幸せに暮らすことのできる社会をめざして
歴史や思想のなかから現代社会の課題を紐解く。

多様な価値観を調整・統合し、より良い社会をつくるのが政治の目的です。市民社会、ガバナンス、グローバリゼーションといった現代的課題と向き合い新しい視点から政治社会のあり方を考える知識と素養を身につけます。

学びの特色

現代社会のさまざまな社会課題を 学びのテーマとして追究する

変化する時代のなかで政治を学ぶには、新しい潮流や社会課題に対して感度を高め、知識をアップデートすることが重要です。政治学科では「NPO・NGO論」「平和学」「環境政治論」「ダイバーシティと社会」など、時代にふさわしい知識と考え方を学ぶ科目を多数設置しています。

地域と連携して動ける人材に求められる 実践力とコミュニケーションを培う

統治（ガバナンス）を学ぶうえで、地域社会やそこで暮らす人々への理解と協調は欠かせません。実際の地域を対象とした社会調査や地域と連携したプロジェクトなどに加え、実務家から学ぶインターンシップを通して、卒業後に役立つ実践力を培うことができます。

コース紹介

▶ 公共政策コース

主に公務員をめざす学生を対象としたコースです。公共政策に関わる科目と、関連法規を中心に学んでいきます。

▶ 地域創造コース

地域政治や都市政策を中心に、地域創生に関わるために知識を修得し、地方公務員やコミュニティビジネスといった舞台をめざします。

▶ 国際政治コース

国際公務員やグローバルビジネスでの活躍をめざすコースです。国際政治や国際法を中心に、世界に通じる知識を修得します。

▶ メディア政治コース

主にジャーナリストや情報産業をめざす学生を対象としたコースで、政治や社会とコミュニケーションの関係性を学びます。

活躍をめざすフィールド

- 金融／メーカー／マスコミ／IT企業等の幅広い一般企業
- ジャーナリスト・メディア産業
- 公務員（国家公務員・地方公務員・国際公務員含む）

PICK UP

自治体を支える制度や仕組みを 実務経験者のリアルな声から学ぶ

専門総合講座「自治型社会の課題」では、実務経験をもつ講師による授業で、制度・政策の基本的な内容や、実際に自治体が抱える課題とその対策を学びます。このような実践的な授業を通して、法学・政治学の理論を社会に適用し、自ら解決策を考える力の獲得をめざします。

大学で培った複眼的な視点と

柔軟な思考力で

「地域のために何ができるのか」を考えたい

STUDENT'S VOICE

「政治学や地方自治を学びたい」×「公務員になりたい」という思いから、政治学科を選びました。コース選択をはじめ、自身の関心にマッチした学修・研究が可能な環境と、公務員試験に強いブランドは非常に魅力的でした。科目やゼミの設置数も多く、さまざまな切り口から政治・社会について理解を深めることができるのが政治学科の特徴です。幅広い学問領域の中から私が出会ったのは「地域政策」。その出会いが、学修意欲の向上につながり、進路を選択する際のカギになりました。卒業後は地方自治体の職員として、豊かなまちづくりに尽力してまいります。

4年 安田 敦貴

都立国分寺高等学校（東京都）出身

内定先 東京都庁

「政治学」などを通して、社会における政治の役割や機能の概論を学びながら、現代のさまざまな社会のあり方について、理解を深めていきます。2年次より4つのコースに分かれて、将来の目標や一人ひとりの関心に合わせた学びを展開。各コースでより特化した専門的な知識を学び、スペシャリストとしての素養を培っていきます。



一つの問題を考察する際に
さまざまな切り口から検討する力が身につきました

私が特に力を入れて学んだ分野の一つが福祉国家のあり方についてです。スウェーデンやアメリカなどの福祉の事例を学ぶ「比較政治学」や日本の福祉政治の変遷を学ぶ「政治過程論」等を履修しました。法学部の学びを通して成長を実感するのは、論理的に考え、伝える力を養成できたことです。法学を通じて規範を定立した上で具体的に考える法的な思考過程を、政治学を通じて比較や批判的検討をする思考方法が身につきました。将来は、世の中の紛争に向き合い、個別具体的な紛争の解決に取り組みたいと考えています。政治学の学びを活かして、立法にも携わりたいので法科大学院への進学を決めました。

4年 **渡邊 奏波** | 県立大垣北高等学校(岐阜県)出身

進学先 **東京大学法科大学院**



報道に携わる者としての心構えなど
これから働く上でも大切にしていきます

政治学科の魅力は、必須単位が少なく、興味関心に合わせて授業を組めることです。また、法律・政治・国際関係など幅広い分野を学ぶことができます。特に3年次に受講したジャーナリズム論は、報道機関を進路の一つとして考えていた私にとって、「報道に携わるとはどういうことなのか」を深く考える契機となりました。一つの事象に対しても、各領域によって見解やアプローチが異なってくることを学び、常にさまざまな視点から捉えるよう意識するようになりました。卒業後は放送業界に就職します。一人でも多くの人に、「社会で起きていること」を考える“きっかけ”となるような番組を制作していきたいです。

4年 **松本 拓人** | 芝浦工業大学附属高等学校(東京都)出身

内定先 **株式会社テレビ朝日**

